

様式①-1

平成27年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名
		海岸高潮対策事業	川越地区
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班
	170110	港湾・海岸課	海岸整備班
			電話番号
			059-224-2690
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名
	20	四日市 郡部 一般	川越町 亀崎新田
④事務事業名	海岸保全事業		
⑤基本事業名	海岸保全対策の推進		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止		

2 事業計画の概要

事業計画の概要				
矢板工	250m		事業着工	2014年度
堤防嵩上工	530m		事業完了	2022年度
堤防補強工(表)	450m		供用開始	2023年度
堤防補強工(裏)	370m		B/C評価期間	50年
			全体計画事業費(億円)	8.500
			全体計画工期(年数)	9年
事業の目的				
当海岸の堤防は、老朽化の進行や地盤沈下による堤体の沈下により防護機能が低下しています。さらに耐震調査の結果、地震時の地盤の液状化により、堤体の安定が確保されていないことが確認されています。このため、堤防の嵩上げ・補強、耐震対策等を行い、背後地の安全を確保します。				

3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	707.20
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益 交通事故減少便益 環境改善便益 待避・避難機能向上便益 快適性向上便益 交通遮断防止便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益 人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益 大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益 待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益 歩行者便益 アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益 家畜排泄物処理便益 大気質浄化・騒音遮断等便益	水質汚染抑制便益 家畜排泄物処理便益 大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益 生産基盤拡充便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益 単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益 更新便益 廃用損失	土地創出便益 更新便益 廃用損失	
粗便益①(現在価値合計)：B'(億円)				707.20
テーブル8	環境評価	自然環境 景観 文化 快適性 安全・安心	WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計)：E(億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計)：<B'+E>(億円)				707.20
地域	四日市	に対応した地域係数		1.1
便益(現在価値合計)：B(億円) ((B'+E)×地域係数)				777.92
費用(現在価値合計)：C(億円) (費用計算テーブルより)				7.39
費用便益比：B/C				105.32

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

様式①-2

平成27年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(2)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		海岸高潮対策事業	川越地区	
②事業担当室	室CODE	担当室	担当グループ	電話番号
	170110	港湾・海岸課	海岸整備班	059-224-2690
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町村字名	
	20	四日市 郡部 一般	川越町 亀崎新田	

2 政策的重要度評価(個別評価)

(a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	みえ県民力ビジョンの選択・集中プログラムに位置づけられている事業
2	
3	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

命を守る緊急減災プロジェクト(「自然災害に備える基盤施設の整備に向けた課題」を解決するために)

(b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

I	
II	構造物の老朽化の程度等から見て、保全を必要とする区域の保全
III	
IV	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

(c) 熟度

【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

【評価結果(優先度判定の結果)】

II
